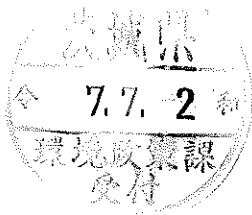


（第 1 面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025 年 6 月 27 日

茨城県知事 殿



提出者  
住 所 茨城県笠間市安居 2600-8  
氏 名 不二製油株式会社関東工場  
工場長 蓮尾 和博

電話番号 0299-45-8600

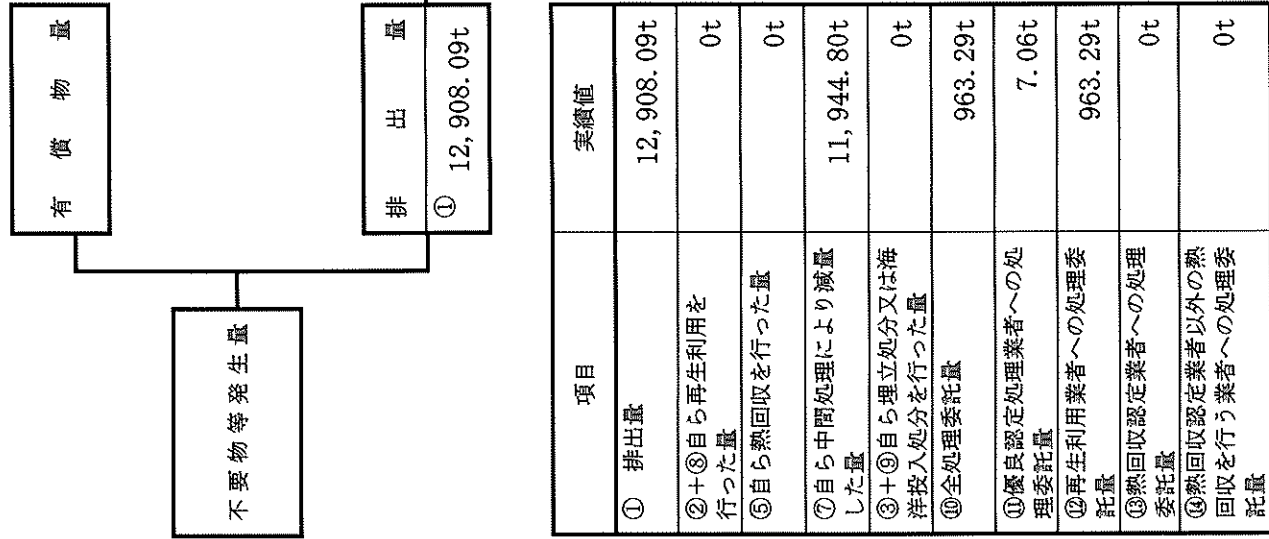
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	不二製油株式会社関東工場		
事業場の所在地	茨城県笠間市安居 2600-8		
事業の種類	食料品製造業（09）		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	12,154t	全処理委託量	1,146t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	233t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	1,146t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11,009t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	178t
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類:

汚泥

計画の実施状況



(産業廃棄物の種類：

廃プラ

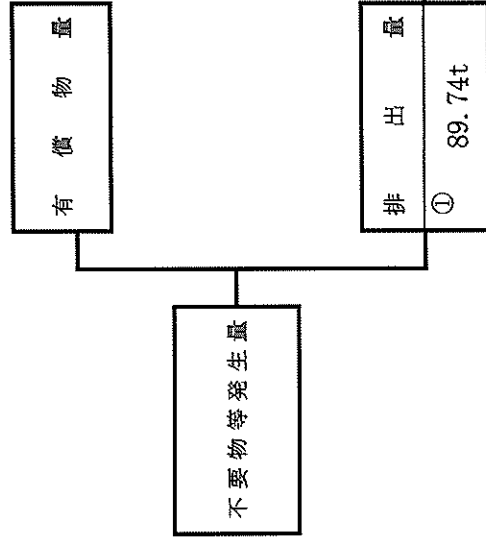
計画の実施状況

有償物量		不要物等発生量
排出量		
① 168.41t		

項目	実績値
① 排出量	168.41t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	168.41t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	118.12t
⑫再生利用業者への処理委託量	168.41t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	168.41t

(産業廃棄物の種類： 動植物性残渣)

計画の実施状況

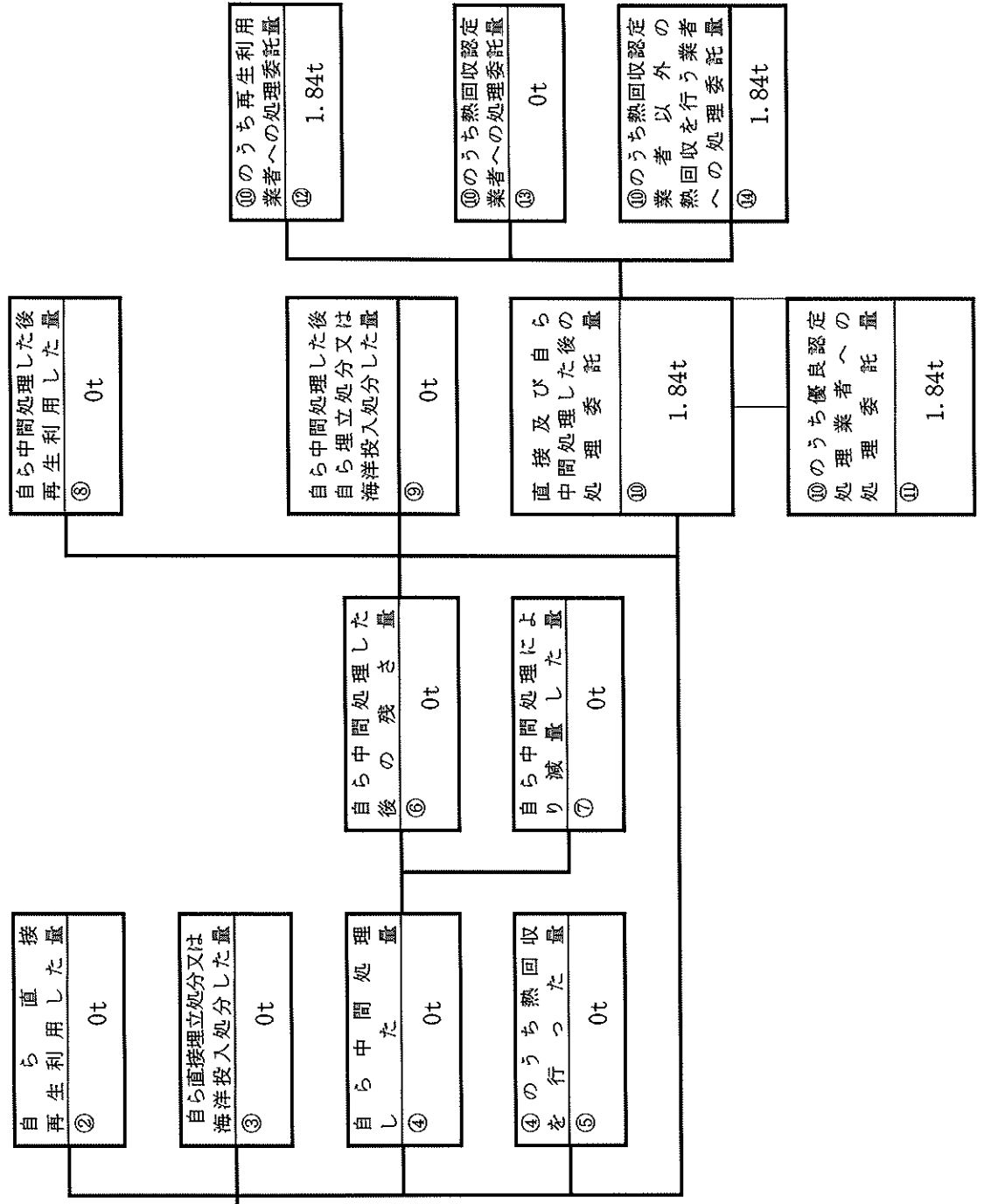
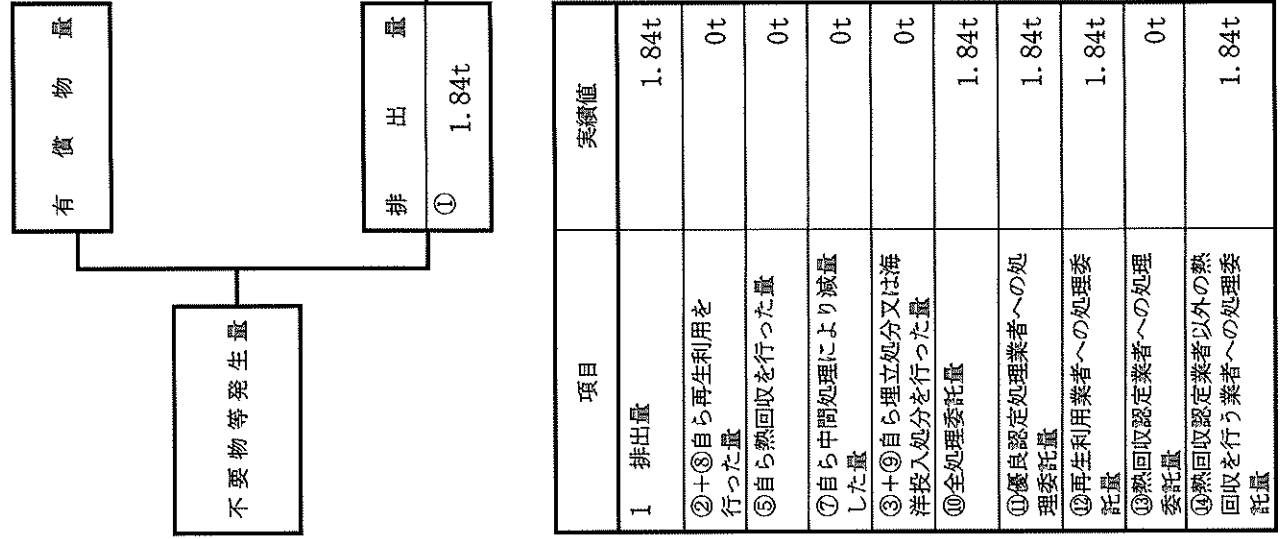


項目	実績値
① 排出量	89.74t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	89.74t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.74t
⑫再生利用業者への処理委託量	89.74t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	18.60t

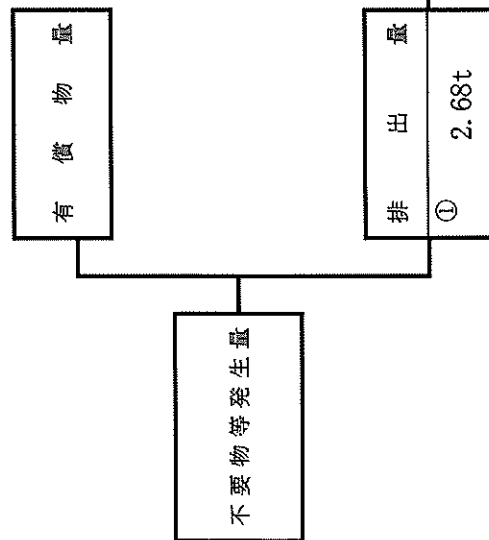
(産業廃棄物の種類：

廃油

計画の実施状況



(産業廃棄物の種類：



項目	実績値
① 排出量	2.68t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	2.68t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.68t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

②	自 ら 再 生 利 用 し た 量	0t	③	自 ら 中 間 処 理 し た 後 再 生 利 用 し た 量	0t
③	自 ら 直 接 埋 入 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 し た 量	0t	④	自 ら 中 間 処 理 し た 量	0t
⑤	④ の う ち 熱 回 収 を 行 っ た 量	0t	⑥	自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 残 さ し た 量	0t
⑦	自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 し た 量	0t	⑧	自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 直 接 及 び 自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 処 理 委 託 量	2.68t
⑨	自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 直 接 及 び 自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 処 理 委 託 量	0t	⑩	⑩ の う ち 優 良 認 定 の 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 2.68t
-------------------	---------

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0t
---------------------------------------	----

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。